Creative Enzymes®

ネイティブベーカー酵母 (S. cerevisiae) 3-ホスホグリセリン酸キナーゼ

Cat. No. NATE-0006

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ホスホグリセリン酸キナーゼ (EC 2.7.2.3) (PGK) は、1,3-ビスホスホグリセリン酸 (1,3-BPG) から ADP へのリン酸基の可逆的な転移を触媒する酵素です。この反□により、3-ホスホグリセリン酸 (3-PG) と ATP が生成されます。すべてのキナーゼと同□に、PGK は転移酵素です。PGK は解糖系において主要な酵素であり、解糖□路の最初の ATP 生成ステップで使用されます。糖新生においては、PGK によって触媒される反□は逆方向に進行し、ADP と 1,3-BPG を生成します。
用途	3-ホスホグリセリン酸キナーゼは、1,3-ジホスホグリセリン酸からADPへのリン酸基の転送を触媒することによってATPを生成します。3-ホスホグリセリン酸キナーゼは、解糖系および糖新生の研究に使用されます。また、低分子量GTP結合タンパク質やグリセルアルデヒド-3-リン酸脱水素酵素の阻害メカニズムの研究にも使用されています。この酵素は、グリセルアルデヒド-3-リン酸脱水素酵素のアッセイに使用されています。
別名	PGK; 3-PGK; ATP-3-ホスホ-D-グリセレート-1-ホスホトランスフェラーゼ; ATP:D-3-ホスホグリセレート 1-ホスホトランスフェラーゼ; 3-ホスホグリセレートキナーゼ; 3-ホスホグリセレートホスホキナーゼ; 3-ホスホグリセリン酸キナーゼ; 3-ホスホグリセリン酸ホスホキナーゼ; 3-ホスホグリセリンキナーゼ; グリセレート3-リン酸キナーゼ; グリセロリン酸キナーゼ; ホスホグリセリン酸キナーゼ; ホスホグリセリンキナーゼ; ホスホグリセロキナーゼ; EC 2.7.2.3

製品情報

由来	ベーカリー酵母 (S. cerevisiae)
形態	硫酸アンモニウム懸濁液
EC番号	EC 2.7.2.3
CAS登□番号	9001-83-6
活性	> 1000 ユニット/mg タンパク質
単位定義	1ユニットは、pH 6.9、25°Cで1分あたり1.0 μmoleの1,3-ジリン酸グリセリン酸を3-リン酸グリセリン酸に□換します。

保管・発送情報

保存方法	2-8°C